



四国経済連合会 観光委員会

2025年大阪・関西万博の開催に向けて

(公社) 2025年日本国際博覧会協会 櫛 真夏

2021年5月28日

世界中の人々が参加する国家プロジェクト 〔人類共通の課題を解決する場〕

《20世紀まで》

国威発揚や殖産興業
(産業見本市的) が中心

総
会
決
議
B
I
E

1994年

人
類
共
通
の
課
題
の
解
決
策
を
提
示
の

《21世紀から》

地球的課題と人類社会の持
続的な発展がテーマの中心に

ロンドン万国博覧会 (1851年)

※世界初の万博

パリ万国博覧会 (1867年)

※徳川幕府と鍋島・薩摩両藩が日本より
初出展

日本万国博覧会 (1970年)

※大阪で日本初開催

沖縄海洋博 (1975年)

大阪園芸博 (1990年) など

愛・地球博 (2005年)

上海国際博覧会 (2010年)

ミラノ国際博覧会 (2015年)

**ドバイ万博
(2021年予定)
など**



ミラノ国際博覧会日本館

国際博覧会条約に基づく2種類の国際博覧会

登録博覧会

【大規模博覧会】

- ・5年に1回開催
- ・期間は6か月以内
- ・面積要件なし



＜国内開催実績＞ 旧 一般博

- ・大阪万博（1970）
- ・愛知万博（2005）



認定博覧会

【小規模博覧会】

- ・2回の登録博の間に1回開催
- ・期間は3か月以内
- ・25ha以内



＜国内開催実績＞ 旧特別博

- ・沖縄国際海洋博覧会(1975)
- ・国際科学技術博覧会（1985）
- ・国際花と緑の博覧会（1990）

2025年に日本が開催するのは大規模な「登録博覧会」

70年万博がきっかけで生まれたもの、広がったもの

■ウルトラソニック・バス (人間洗濯機)



■ファーストフード ケンタッキーフライドチキン (日本初上陸)



■電気自動車 (国内における初の試み)



■動く歩道 (万博を契機に全国的に認知)



■ワイアレステレホン (携帯無線電話機)



【その他】ファミリーレストラン、缶コーヒー、フランスパン、ブルガリアヨーグルト、空気膜構造、電動自転車、テレビ電話、民間警備会社、カプセルホテル、左側通行、地域冷房システム、メタボリズム、ピクトグラム（サイン計画）など

(出典：「EXPO'70パビリオン大阪万博公式メモリアルガイド」)

▶役員 (2021年5月12日時点/敬称略)

会長 (代表理事)	中西 宏明	一般社団法人日本経済団体連合会会長
事務総長 (代表理事)	石毛 博行	前独立行政法人日本貿易振興機構理事長
副会長 (理事)	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長
	尾崎 裕	関西商工会議所連合会会長、大阪商工会議所会頭
	※	一般社団法人関西経済同友会代表幹事
	塚本 能交	京都商工会議所会頭 ※次回社員総会にて選任予定
	家次 恒	神戸商工会議所会頭
	三村 明夫	日本商工会議所会頭
	櫻田 謙悟	公益社団法人経済同友会代表幹事
	吉村 洋文	大阪府知事
	松井 一郎	大阪市長
	仁坂 吉伸	関西広域連合長
理事	國部 毅	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会財務委員会委員長
	寺田 千代乃	アートコーポレーション株式会社名誉会長
	高橋 政代	株式会社ビジョンケア 代表取締役社長
	池坊 専好	華道家元池坊 次期家元、一般財団法人池坊華道会副理事長
	副事務総長 (理事)	森 清
竹内 廣行		前大阪府副知事
櫛 真夏		前公益財団法人関西経済連合会常務理事

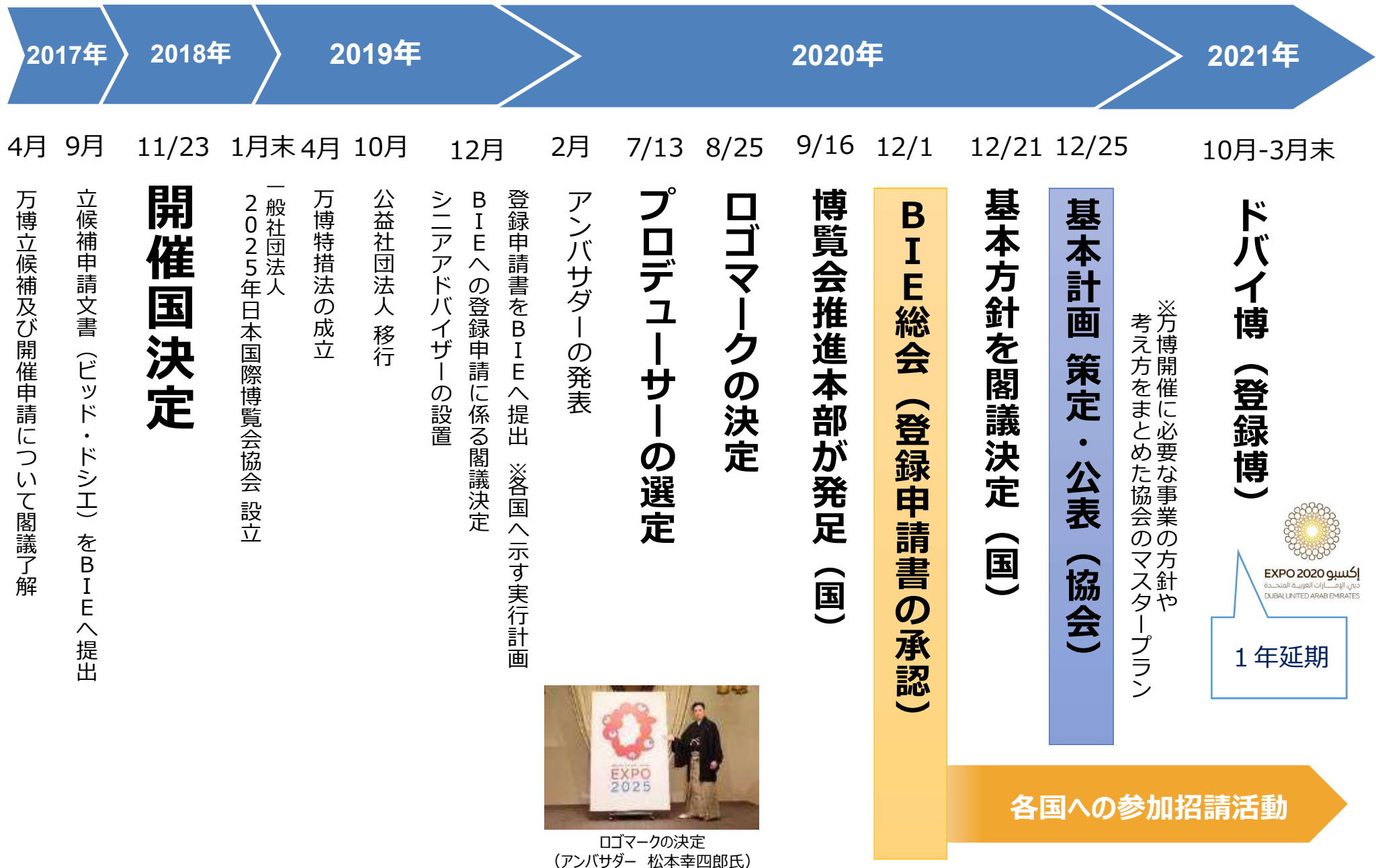
万博会場（夢洲）



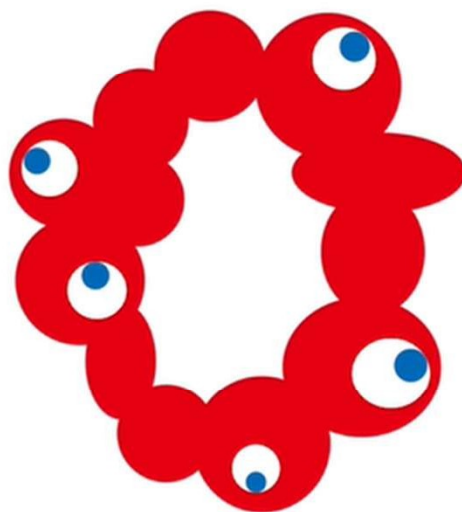
万博会場（夢洲） 航空写真



万博の進捗とスケジュール ～これまでの取り組み～



ロゴマークの決定
（アンバサダー 松本幸四郎氏）



OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

(参考資料)

第 167 回BIE総会動画 日本語訳

※以下 JP…ナレーション日本語訳

JP:COVID-19 の脅威が世界を覆った 2020 年。

JP:世界中の人が、日々の暮らし、社会のあり方、そして命について深く考える 1 年になった。

JP:しかし、このパンデミックは人類の試練であると同時に、よりよい未来を実現していく機会である。

JP:その信念をもとに、2025 年の大阪万博開催に向けた様々な Co-creation は、止まることなく、さらに加速を始めている。



0:36

JP:大阪万博のコンセプトである People's Living lab。

JP:その実現に向け、準備活動をリードしていく国際博覧会推進本部が設置された。そして万博担当大臣には新たに井上氏が就任し、盤石の準備体制が敷かれた。

JP:民間からは 1000 件を超える具体的なアイデアが集まっている。それらはデジタル社会・ロボット・AR・人工知能・医療・環境問題などあらゆる領域に渡り、日本が国家プロジェクトとして進めている「SOCIETY5.0」のビジョンを共有しながら、実現に向けて検討が開始された。



1:23

JP:そして会場のデザイン、運営、テーマ事業のプロデューサーも決定し発表された。

JP:各領域の第一人者である、彼らが中心となり、国内はもとより世界各国との Co-creation をさらに加速させていこう。



1:40

JP:特に今の時代、このパンデミックの時代で、ある意味、分断が始まるんですけども、こういう時代だからこそ、繋がりを持って、様々な生きとし生けるものが共存し合うってというような未来に向かって一歩踏み出す、そういう知恵の結集が万博にあるんだということを示さなければいけないと思っています。



2:04

JP:今、コロナ禍の中で、テレワークが進み、ロボットやCG エージェントを用いた、アバターの利用が期待されるようになってきています。この万博で、アバターをたくさん導入して、世界中の人が気軽に参加できるそういう仕組みをつくることができれば、その先に広がる新たなロボット社会の可能性を世界に日本から見せることができるのではないかと考えています。



2:33

JP:このような具体的な進捗をうけ、日本全体の機運がさらに高まってきている。

JP:地元自治体のパビリオン設立に向けた会合が開かれ、公式ロゴが8月に発表された。



2:48

JP:会場の整備を新たな段階に入った。人工島で安全に万博を運営するための準備が進んでいる。

JP:SDGs 達成の中間地点となる 2025 年。環境との共存や、持続可能性を大切にしてきた文化が根付く日本で。その中でも、生命の力が強く息づく大阪の地で。

JP:世界中の人々が集い、達成した成果を祝い、さらに加速させていく。

JP:知恵と知識と情熱が掛け合う、Co-creation の万博の開催まであと4年。その準備は順調に進んでいます。



3:37

出典:第167回BIE(博覧会国際事務局)総会動画 経済産業省 YouTube METIチャンネルに掲載

<https://www.youtube.com/watch?v=79GxQar6r1A>

各国への参加招請活動

大阪・関西万博参加招請活動キックオフ会合（2020年12月2日）



※ペルー、欧州連合、ベトナム、フランス、アラブ首長国連邦、及び南アフリカの在京大使等

マデン駐日英国大使とウーテン総領事による夢洲視察 (2021年2月1日)



第4回 各国大使会合（2021年1月15日）



※4か国（ロシア、コロンビア、ノルウェー及びトルコ）の在京大使等

フェリング駐日ルクセンブルク大公国大使による夢洲視察 (2021年3月8日)



名称	2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab （未来社会の実験場）
会場	夢洲（大阪市此花区）
開催期間	2025年4月13日（日）－10月13日（月）
想定入場者数	約2,820万人

※計画日來場者数 28.5万人/日（開催期間のうち上位10%の予測平均來場者数）

一人ひとりが自らの望む生き方を考え、それぞれの可能性を最大限に発揮できるようにするとともに、こうした生き方を支える持続可能な社会を、世界が共創 (Co-Creation) していくことを推進。

いのち、生きる、生き抜く



写真:ジョイセフ Pより



「いのち」の誕生から38億年

- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)
に向けた目標が示されることが期待される

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



テーマの実現に向けて

- 万博の目的であるテーマの実現に向けて、事業のガイドラインであるPeople's Living Lab（未来社会の実験場）というコンセプトのもと、「世界との共創」「テーマ実践」「未来社会ショーケース」の3つを実施する。

意義

- いのち輝く未来社会へ
- SDGs達成・SDGs+beyondへの飛躍の機会
- Society5.0実現に向けた実証の機会
- 日本の飛躍の契機に

目的

[テーマ]

- いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)

[サブテーマ]

- Saving Lives (いのちを救う)
- Empowering Lives (いのちに力を与える)
- Connecting Lives (いのちをつなぐ)

手段（何をやるのか）

[事業コンセプト] People's Living Lab（未来社会の実験場）

世界との共創

公式参加
パビリオン

公式行事

テーマ実践

テーマ事業

「TEAM EXPO
2025」プログラム

.....
テーマフォーラム

日本館

自治体等の出展

民間パビリオン

催事

未来社会ショーケース

未来社会
ショーケース
事業

バーチャル万博

- 1 海と空を感じられる会場
- 2 世界中の「いのち輝く未来」が集う万博
- 3 未来の技術と社会システムが見える万博
- 4 本格的なエンターテインメントを楽しめる万博
- 5 快適、安全安心、持続可能性に取り組む万博



会場デザイン① ～世界とつながる海と空に囲まれた万博～

- 四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」に囲まれた万博としての会場デザイン及び企画などを実施。



- 世界へ発信する「理念」、求められる「機能性」、万博ならではの「特別な体験」の3つを連動。
- 誘致の時から「非中心・離散」の理念によって多様性を鼓舞し、そこに「つながり」を重ね合わせた「多様でありながら、ひとつ」をデザイン。



求められる

機能性

世界へ発信する

理念

「非中心・離散」+「つながり」
多様でありながら、ひとつを象徴する会場

万博ならではの
特別な体験

会場デザインプロデューサー
藤本壮介 ※敬称略



©David Vintiner

- ・ 動線の分かり易さ、
- ・ 迷わない、
- ・ 避難しやすさ、
- ・ それでいて多様な体験、
- ・ 陽射しから守る
- ・ 雨から守る、
- ・ 各施設のバランスの良い配置

- ・ モジュール化による効率化
- ・ 混雑の緩和
- ・ 各パビリオンの平等な扱い
- ・ 護岸船の先の海を見る
- ・ 海の広場を含む多様な広場の配置
- ・ 会場を俯瞰する視点

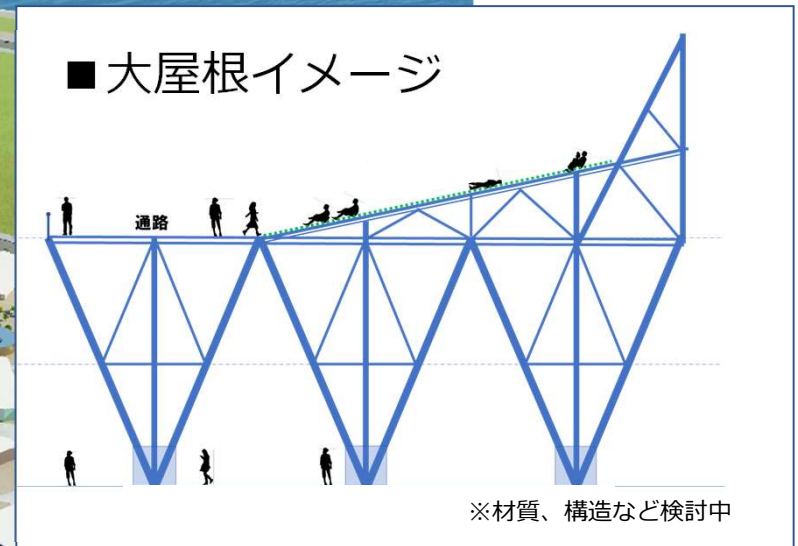
など

海と空と地の万博

○ひとつの大屋根（リング）

主動線であり、人々を日差しから守る屋根でもあり、すべてのパビリオンが大屋根（リング）につながっている

会場デザイン③ ～大屋根（リング）～



会場デザイン④ ～瀬戸内海に沈む夕陽を臨む会場～



会場デザイン⑤ ～3つのエリア～

- 万博会場はパビリオンワールド、グリーンワールド、ウォーターワールドの3つのエリアで構成する。



グリーンワールド

- 会場の西側の海に面した緑地エリア。
- 屋外イベント広場や交通ターミナル、エントランス広場等、大人数が滞留することのできる開けた空間とする。

パビリオンワールド

- パビリオン等の施設が集まるにぎわいのエリア。主動線としてリング状のメインストリートと離散的に大小の広場を設け、ここからすべてのパビリオンにアクセスできる。
- メインストリートの上部には大屋根（リング）を設置。
- メインストリートから離れた位置に樹木を配した広場（静けさの森）を作り、これにつながるようテーマ館が配置される。

ウォーターワールド

- 水景を活用した憩いのエリア。水辺に面して飲食施設を配置するとともに、水上イベントの舞台としても活用。

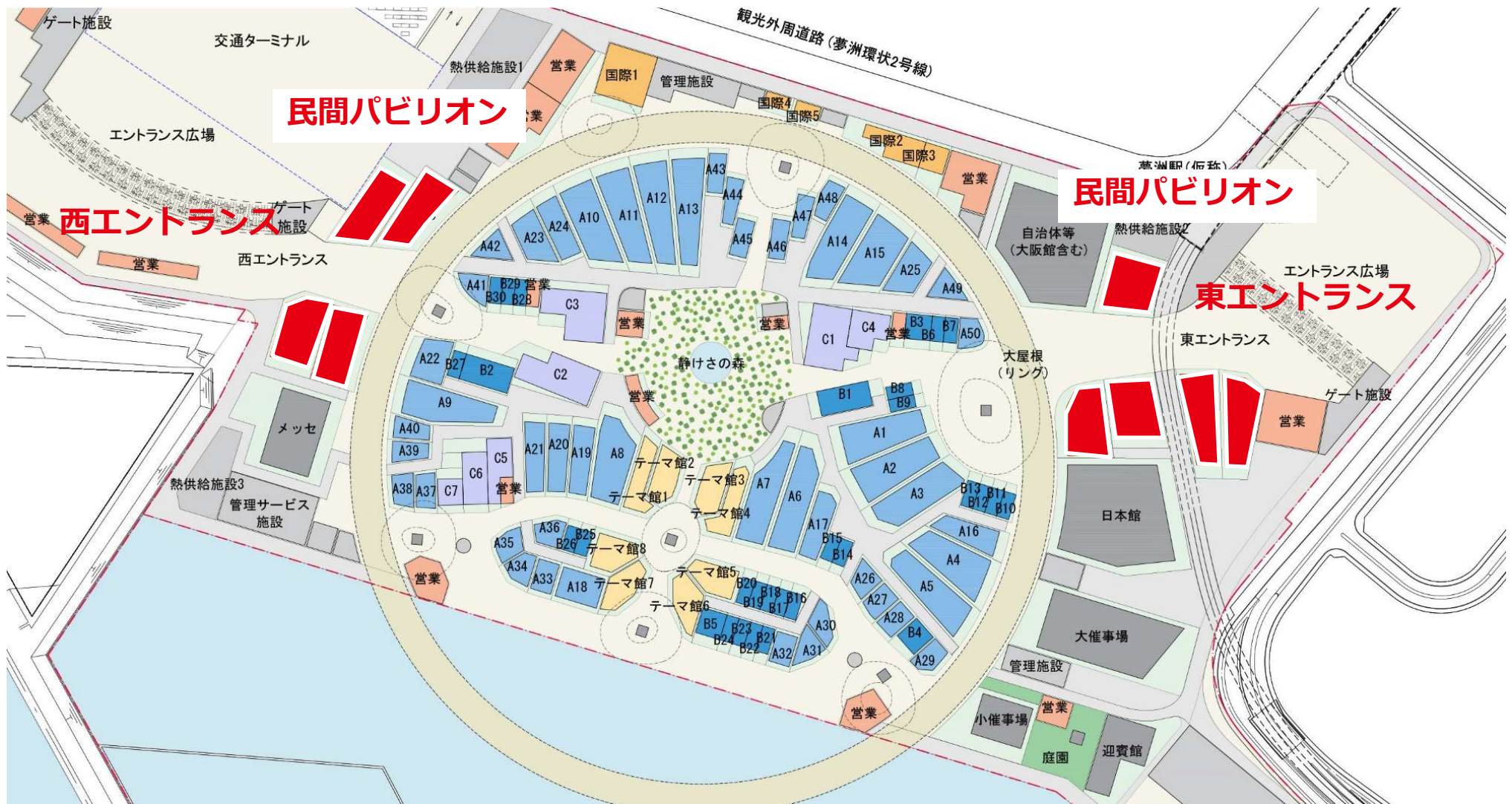
会場デザイン⑥ ～各国パビリオン・テーマ館～

- 各国パビリオンは（A 1～A 50まで）全て大屋根の下の『主動線』に面している。
- テーマ展示のパビリオンは、南側の水際から中央の「静けさの森」を結ぶラインの両側に向かい合って配置される。「いのち」をめぐる8つのテーマ展示が、それぞれ独立しながらも連携し、共鳴し合っって大きなストーリーを描くことができるように、隣接した配置とする。



会場デザイン⑦ ～民間パビリオン、VIP対応～

- 民間パビリオンは、東と西のエントランス付近に配置する。
- 民間パビリオンもテーマの実現に向けて共に取り組むパートナーとして位置づけ、多彩な企業による未来社会のデザインを行う。



会場デザイン⑧ ～様々な催事に対応・実験エリア～

- 会期中に行われる様々な催事に対応できるよう、パビリオンワールドに催事施設、メッセ、小型のステージ、庭園、グリーンワールドに屋外イベント広場、ベストプラクティスエリア、ギャラリーを設置する。
- グリーンワールドには、空飛ぶクルマなど先進的なモビリティを体験するエリアも配置する。

モビリティエクスペリエンス
(先進的なモビリティの体験エリア)

ベストプラクティス
エリア

ギャラリー

屋外イベント広場

屋外イベント広場

グリーンワールド



メッセ

■ 小型のステージ

パビリオンワールド




小催事場 庭園 迎賓館

会場デザイン⑨ ～会場内移動（外周トラムなど）～

- 会場内での来場者の移動については、徒歩を主な手段として想定するが、高齢者、障がい者、子連れの家族等、様々な来場者が快適に会場内を移動できるように、また先進的なモビリティを体験する機会を得られるよう、多様なモビリティを導入する。



- 大阪・関西万博の3つのサブテーマを通じて、テーマの実現を目指す。
- 世界各国の公式参加者（参加国や国際機関）は、それぞれの立場からSDGs達成に向けた優れた取り組みを持ち寄り、会場全体でSDGsが達成された未来社会の姿を描く。

サブテーマ 一つ以上を選択	公式参加パビリオンのテーマ展開のトピック例		SDGs 17のゴール 一つ以上に取り組む
	個人の取組、自分自身の意識改革、啓発による気づき	コミュニティ、企業、政府、国、社会等による取組	
Saving Lives (いのちを救う)	生活の中の健康、健康寿命の延伸、心（精神）の健康、季節と衣食住、食と生活等	ライフサイエンス、労働環境の改善、貧困問題の解決、児童死亡率の低減等	
Empowering Lives (いのちに力を与える)	自己実現、ファッション、笑い、観光、文化、芸術、スポーツ、学び等	遠隔教育、ライフ・ワークスタイル、産業高度化、エンジェル投資等	
Connecting Lives (いのちをつなぐ)	デジタル活用、地球環境を意識した行動、気候変動への適応等	オンラインプラットフォーム、クラウド・ファンディング等	

150の国及び25の国際機関の参加を目指す

テーマ事業①

- 地球的課題の解決において創造力は極めて重要であり、創造力を活かすことのできる社会の未来像を示すために、テーマ事業は、創造力を主体とした事業構築手法（クリエイティブ・ドリブン）によって進める。



「いのちを知る」

福岡 伸一
生物学者、青山学院大学教授



- 生命系全体の中にある私たちのいのちの在り方を確認する。



「いのちを育む」

河森 正治
アニメーション監督、
メカニックデザイナー



- 宇宙・海洋・大地に宿るあらゆるいのちのつながりを感じ、共に守り育てる。



「いのちを守る」

河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



- 危機に瀕し、人類は「分断」を経験する。「わたし」の中の「あなた」を認めるいとなみの行方に、多様ないのちが、それぞれに、護られてゆく未来を描く。



「いのちをつむぐ」

小山 薫堂
放送作家、脚本家



- 自然と文化、人と人とを紡ぐ「食べる」という行為の価値を考え、日本の食文化の根幹にある「いただきます」という精神を発信する。



「いのちを拡げる」

石黒 浩

大阪大学教授、
ATR石黒特別研究所客員所長

- 新たな科学技術で人や生物の機能や能力を拡張し、いのちを広げる可能性を探求する。



「いのちを高める」

中島 さち子

音楽家、数学研究者、STEAM教育家

- 遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを感じ、ともにいのちを高めていく共創の場を創出する。



「いのちを磨く」

落合 陽一

メディアアーティスト

©蛭川実花

- 自然と人工物、フィジカルとバーチャルの融和により、自然と調和する芸術の形を追求し、新たな未来の輝きを求める。



「いのちを響き合わせる」

宮田 裕章

慶応義塾大学教授

- 個性あるいのちといのちを響き合わせ、「共鳴するいのち」を共に体験する中で、一人ひとりが輝くことのできる世界の模式図を描く。

未来社会ショーケース事業① ～実装型の社会実験～

- 本万博は、「People's Living Lab = 未来社会の実験場」のコンセプトのもと、「展示の集合体」ではなく、「実装型の社会実験」を目指す。
- その実現にあたっては、多彩な企業や大学、公的機関等、あらゆるプレイヤーが連携し、それらの活動を協会や政府がサポートすることで、会場や展示、運営等を含む「Society 5.0実現型会場」を共創的に創り上げる。



Society 5.0実現型会場のイメージ

未来社会ショーケース事業② ～アイデアを会場で実装～

- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、幅広い参加を呼びかけながら、イノベティブなアイデアを会場で実装していくための取組を展開する。
- 事業の実施にあたっては、大阪・関西万博の事業費に加え、政府等の支援、民間企業の協賛等の協力を得て行う。



- 「Society 5.0実現型会場」の実現に向けて、現在検討を進めている具体的事業の例

カーボンニュートラル



画像 : Adobe Stock

- カーボンニュートラル、エネルギーを最適化する技術、水素エネルギー技術のショーケースとしての導入

デジタル



画像 : Adobe Stock

- リアルとバーチャルを融合した未来のエンターテインメントの実現
- デジタル技術を活用した入場制度、来場者サービスの実施

モビリティ



- 次世代モビリティとしての利活用が期待される空飛ぶクルマにより来場者に新たな移動体験を提供

今後、これらの事業を実現する具体的アイデア等を募りながら、
「Society 5.0実現型会場」の実装を目指す

- 大阪・関西万博では、バーチャル技術を活用し、万博の魅力と発信力を高める「バーチャル万博」を行う。

	万博会場で行うプログラム (会期中実施)	万博会場とは別のプログラム (会期前から実施)
万博会場 (来場者向け)	会場内の展示や催事、 運営サービスをバーチャル技術 を用いて高度化	
オンライン空間 (オンライン参加 者向け)	会場外からアバターで 参加可能な万博会場を オンライン空間上に展開	会場の内容とは別の プログラムを オンライン空間上で展開

バーチャル万博② ～EXPO PLL Talks～

- サイバー万博（仮）の検討をEXPO PLL Talksで開始。
- 第一回EXPO PLL Talksでは、新しい万博の価値に関する対話を深めていくと同時に、サイバーを活用した万博の可能性や、今回の万博に秘められる新しい価値について議論することを目的に、PLLクリエイター齋藤精一氏をファシリテーターとし、大阪・関西万博のプロデューサーの方々との対談を実施。



主催：経済産業省、(公社)2025年日本国際博覧会協会
Organizer: Ministry of Economy, Trade and Industry (METI), Japan Association for the 2025 World Exposition

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO2025

EXPO PLL Talks #001

新しい万博の価値

Exploring New Role of EXPO

サイバー万博の可能性

Potential of Cyber EXPO

4/7 wed. 18:00-19:00

参加費：無料
Participation fee: Free

参加方法：参加登録不要。時間になりましたら以下URLにアクセスしてください。
No reservation required. Please access to the following URL

日本語 <https://youtu.be/uRv09j-IDVk>

English <https://youtu.be/Oj40r0nUJlk>

パノラマティクス 主宰
齋藤 精一 氏
PLLクリエイター
PLL Designer
SAITO Seichi

映画監督
河瀬 直美 氏
テーマ事業 プロデューサー
Theme Producer
Filmmaker
KAWASE Naomi

建築家
藤本 壮介 氏
会場デザインプロデューサー
Site Design Producer
Expo Site Design Producer
FUJIMOTO Sou

慶応義塾大学 医学部教授
宮田 裕章 氏
テーマ事業 プロデューサー
Theme Producer
Professor, Keio University
MIYATA Hiroaki

第2回までのEXPO PLL Talksのアーカイブはこちらの協会ホームページからご覧いただけます。

第3回以降の情報はこちらのページに掲載します。

https://www.expo2025.or.jp/overview/expo_pll_talks/

ぜひご覧ください！

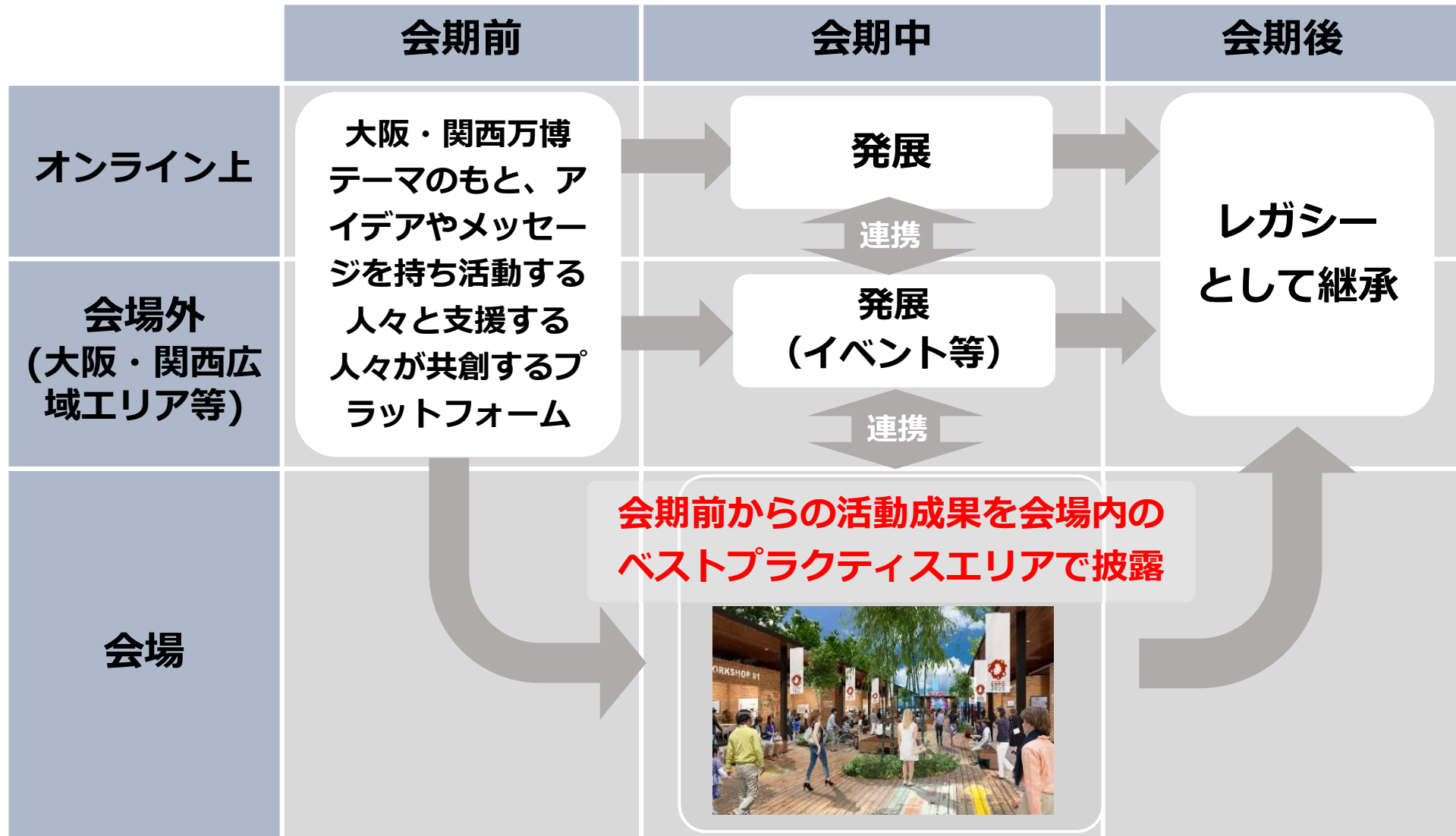
QRコードはこちら↓



第一回EXPO PLL Talks「新しい万博の価値 —サイバー万博の可能性—」リーフレット

「TEAM EXPO 2025」プログラム①

- 会期前より2025年に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げることを目指す取組を推進する。



共創チャレンジ

本万博のテーマの実現、SDGs達成の貢献に向けた多様な活動

(活動例)

- 産官学が連携し、持続可能な地域づくりをめざす活動
- 小中学生が子どもたちが、SDGs達成を目指すロボット制作を通じて世界の子どもと共創を進める活動
- アート・デザインの力を活用したSDGsの発信、社会活動
- 企業（ベンチャー企業、中小企業、大企業）がSDGs達成への貢献の元に進める新規事業活動
- 万博の機運醸成に関する活動（学校、企業、団体、様々なレベルで）
- その他、環境エネルギー、健康医療、観光など様々なテーマにおける活動



共創パートナー

多様な活動を創出・支援する企業・団体



人の支援 資金の支援 場・もの の支援 情報発信の支援

民間企業（金融、メディア、教育、メーカー等）、団体、
大学、国・自治体、社会起業家等

キーワード

SDGs Society5.0

共創（Co-Creation）

多様なセクターの参加

- 催事は万博会場の様々な場所と時間で開催される。協会が企画する催事のみならず、広く参加を募ることにより、様々な分野の催事が開催される。

主催者催事 主催者が協賛企業等と共に行う催事

劇場催事	広場催事	環境演出催事		
音楽	ステージ 催事	ウォーターワールド の水ショー	プロジェクション マッピング	アート プログラム
演劇	映像	展示体験催事		
芸能	パレード/ 祭り	メッセ 展示会	ギャラリー 展示会	伝統文化 展示会
未来型エンターテ インメント				
テーマ フォーラム				

参加催事 文化団体や自治体等の参加により行う催事



■ 屋外イベント広場のイメージ



■ ウォーターワールドで行う
環境演出催事のイメージ

- デジタル技術等を活用した以下のような取組を検討し、来場者にとって快適な万博を目指す。

入場事前予約制度

事前に混雑度を予測できるので、
混雑する日を避けて来場可能

パビリオン予約制度

十分な予約枠を確保

電子チケットの導入

デジタル技術を活かしたゲート認証

入場できる期間や時間帯を 限定した入場券の設定

混雑が予想される日や来場者が集中する
ピーク時間帯の混雑を緩和

実用が進んだ分野における ロボットの活用

清掃、ごみ運搬、物流、モビリティ等

自動翻訳技術の導入

テーマフォーラム等で言語の壁を感じさせない環境を実現

データを活用した入場券購入から退場までの一体的なサービス

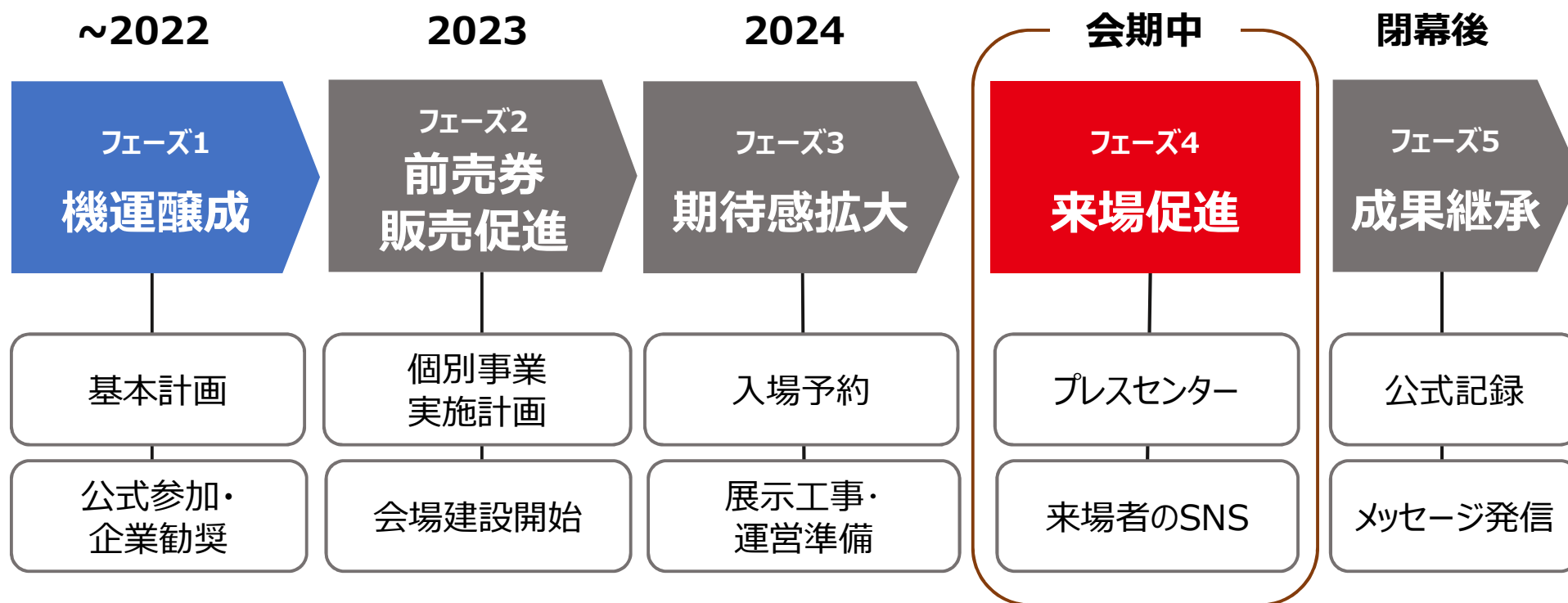
入場券購入・来場・入場・場内移動・退場といった一連の来場者のニーズに対して連続的かつ一体的にサービスを提供

会場運営
プロデューサー
石川 勝



※敬称略

- 国内外の様々な人々、国・自治体・企業・団体等の多様なステークホルダーに、
①大阪・関西万博への興味や関心を持ち、②参加意欲を高めてもらい、③万博会場への出展、来場へと繋げていき、そして、④会期前及び会期中に創出されたレガシーを伝え、後世に継承していくため、広報・プロモーション活動を実施していく。



- 基本計画に基づき、以下のような各分野ごとの計画を、2021年から1～2年かけて策定していく。

催事計画

劇場催事、広場等での祭り・パレード、光と映像を駆使した環境演出催事、メッセやギャラリー等での展示体験催事や未来型のエンターテインメントを行う。

入場制度

開会2年程度前から入場券販売開始を検討する。平準化を目的とした入場券の設定や、入場事前予約制度、電子チケット、パビリオン予約制度の導入を検討する。

営業活動

飲食施設においてはSDGsの目標としても掲げられている食品ロスの削減や、多様な来場者に適応したサービス等の導入、混雑日対応も考慮した施設構成とする。

防災・セキュリティ

会場内での災害を未然に防止し、万一災害が発生した場合には消防活動や避難誘導を円滑に行い、被害を最小限に抑えるための措置を講じる。

情報通信

情報セキュリティを確保し、安全で安心な万博の運営を実現する。万博参加体験を通じて得た情報はビッグデータとして管理、社会に還元する。

輸送

想定来場者数2,820万人の円滑な来場を実現するために、鉄道・道路・空路・海路等の既存交通インフラを最大限活用したアクセス手段を計画する。

持続可能性に

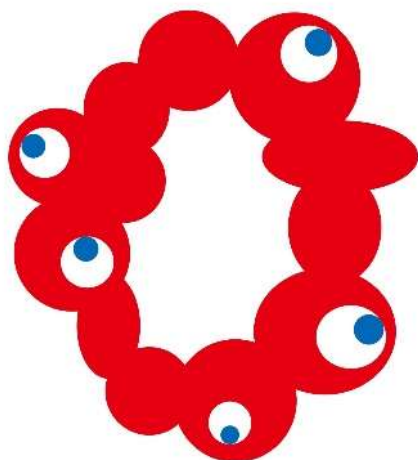
配慮した運営

脱炭素社会の構築等に向け、温室効果ガスの排出抑制、リサイクル・リユース・リサイクル（3R）などに取り組む。

リスク管理

早期からリスクを洗い出し、顕在化を抑制する。ドバイ万博、東京2020オリンピック・パラリンピック等大規模イベントでの感染症対策を参考に必要な対策を講じる。

最優秀作品



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)
作者(代表者)：シマダ タモツ
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

70年大阪万博
ロゴマーク



コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970年のデザインエレメントをDNAとして宿したCELLたちが、2025年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELLたちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

シニアアドバイザー

- 協会における重要課題や専門的事項について、専門知識や技術、経験等を有する方から助言を受けるため、シニアアドバイザーを設置

(五十音順・敬称略)



安藤 忠雄
建築家

photo by 関野欣次



池坊 専好
華道家元池坊
次期家元



大崎 洋
吉本興業ホール
ディングス株式会
社代表取締役会長



桂 文枝
落語家



河瀬 直美
映画監督

©LESLIE KEE



ロバート キャンベル
早稲田大学特命教授



コシノ ジュンコ
デザイナー



五神 真
東京大学大学院
理学系研究科
教授



ウスビ・サコ
京都精華大学学長



千 宗室
茶道裏千家家元



西尾 章治郎
大阪大学総長



宮田 亮平
金工作家



山極 壽一
総合地球環境学
研究所長



山崎 直子
宇宙飛行士

©NASA



吉田 憲司
国立民族学博物館長

アンバサダー

- “大阪・関西万博の顔”として万博の魅力を伝える
「2025年日本国際博覧会協会アンバサダー」を発表 (2020年2月) (五十音順・敬称略)

コブクロ (ミュージシャン)



佐渡 裕 (指揮者)



ダウントウン (タレント)



宝塚歌劇団 (エンターテインメント)



©宝塚歌劇団

松本 幸四郎 (歌舞伎役者)

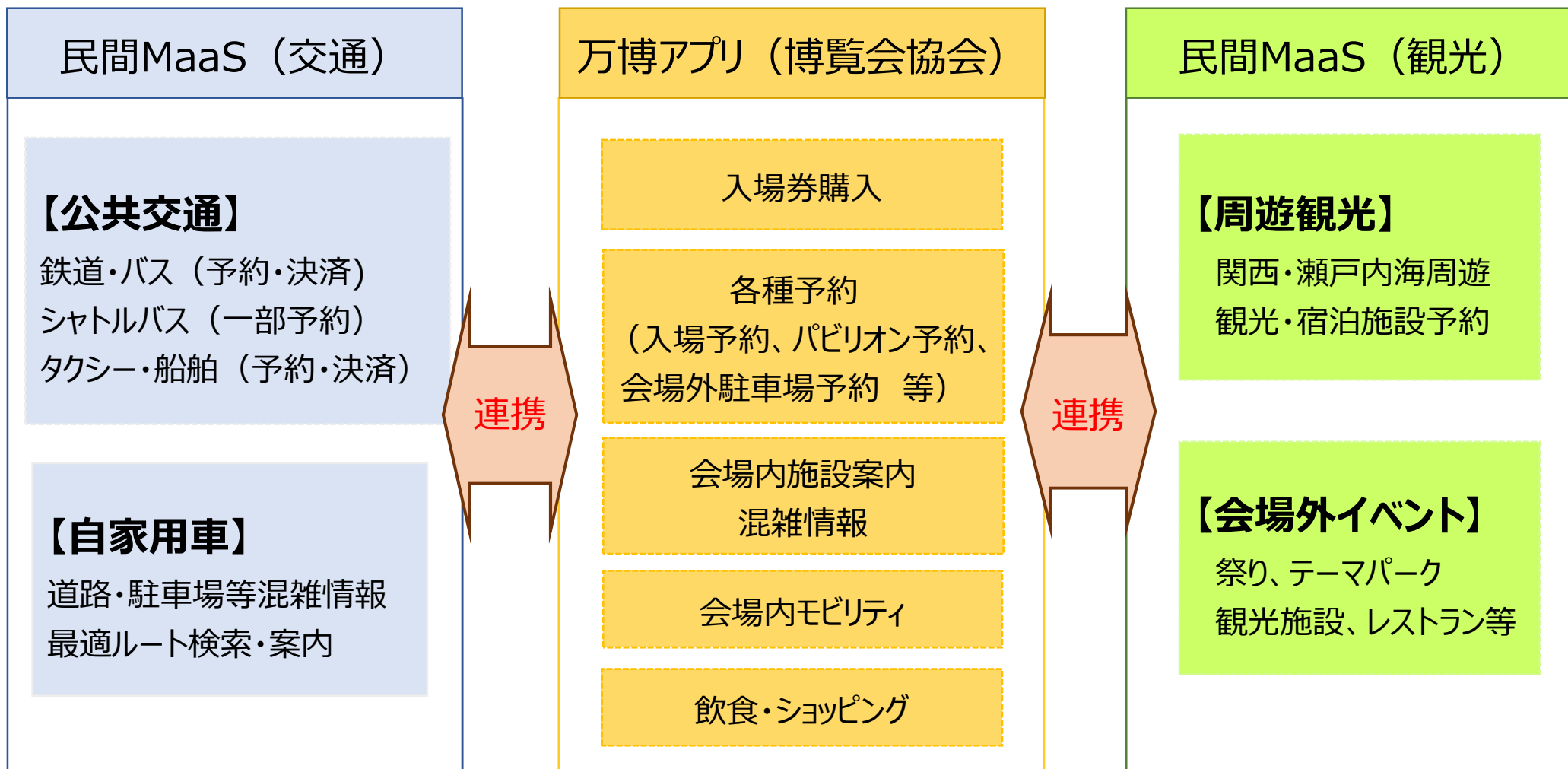


山中 伸弥 (京都大学
iPS細胞研究所所長・教授)



(参考) 万博アプリで提供するサービスイメージ (例)

- 万博の会場情報（入場券購入、入場・パビリオン予約、施設案内、モビリティ予約等）を中心に、その前後の移動・観光（交通機関、渋滞情報、駐車場予約、周辺の観光情報等）情報を一体的に提供することで、ストレスなくスムーズな移動・サービスが可能となる。



企業・団体等の参加① ～多様な参加形態を用意～

- 企業・団体等はともにテーマの実現をめざすパートナー。大阪・関西万博では、これまでの万博よりも幅広い、多様な参加形態を用意。
- パビリオン出展、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業参加、「TEAM EXPO 2025」プログラム参加、催事参加、営業参加、会場建設費等への寄附等

パビリオン出展

(敷地渡し方式)

建ぺい率70%以下(原則) 高さ制限12m以下程度

敷地面積約3,500㎡(9区画程度)

一部を共同館とする場合も想定

テーマ事業協賛

主催者が企画するテーマ事業に協賛社として参加

資金協賛

設備・サービス提供

未来社会ショーケース事業参加

企業・団体が持つ先端技術やシステムを用いて、会場内での実証や実装を行う

先端技術・システムの提供・運用

「TEAM EXPO 2025」プログラム参加

会期前より2025年に向けてテーマの実現を目指して共創する取組への参加及び協賛

テーマ実現に向けた活動の創出・支援

資金協賛

催事参加

主催者催事への協賛又は参加催事の持ち込み

資金協賛

催事プログラムの持ち込み

営業参加

物販・飲食・サービスによる参加

会場内営業施設出店

ライセンスビジネス参加

その他

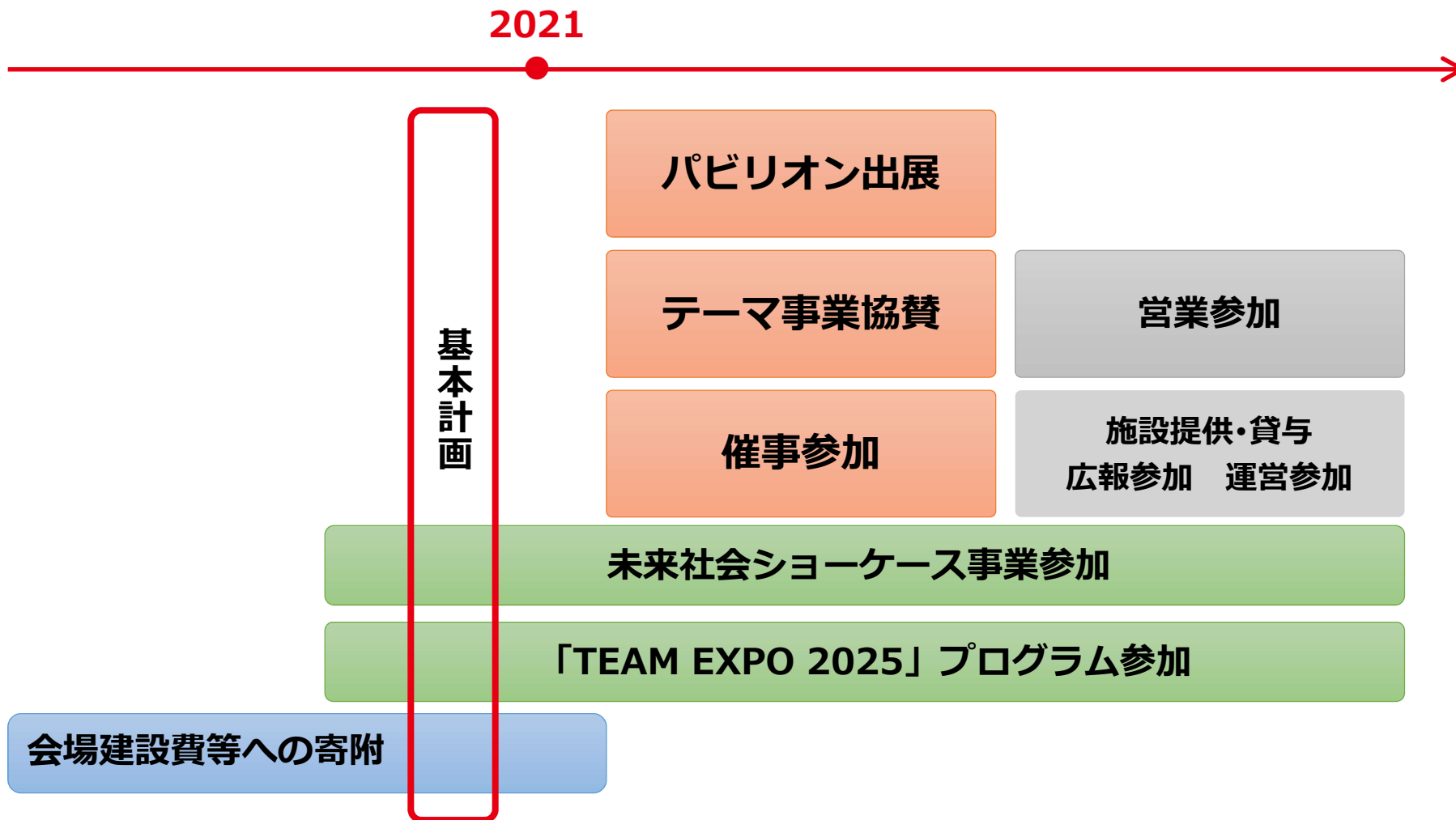
会場建設費等への寄付

施設提供・貸与

広報参加

運営参加

企業・団体等の参加② ～今後の予定～



収入（億円）		支出（億円）	
国庫補助金収入	617	会場建設費	
大阪府・大阪市補助金収入	617	施設整備費	1,180
民間資金等収入	617	基盤・インフラ整備費	670
	計 1,850		計 1,850
入場券売上	702	運営費	809
その他収入	107		
	計 809		
	収入計 2,659		支出計 2,659

※端数処理のため合計額が一致しないことがある。

※会場建設費は、最大の額として1,850億円を計上している。

万博の進捗とスケジュール ～今後のスケジュール～

「基本計画」に基づき、各国への参加招請活動と企業等への参加招請活動を展開し、参加と共創を促進するとともに、各分野毎に詳細な計画を1～2年かけて作るフェーズへ入っていく。



万博の進捗とスケジュール ～国・企業参画促進他～



		2020年度		2021年度										2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期	上期	下期	上期	下期
各国への参加招請		ドバイ万博										各国への参加招請活動・途上国支援メニュー策定 他									
パビリオン出展		参加勧奨			公募・参加選定					基本計画策定 基本設計・実施設計					4月 土地引渡し 建築工事		7月 建築工事完了 展示工事				
テーマ館		夏頃 協賛勧奨開始 / テーマ館中間案公表										春頃 テーマ館最終案公表		工事							
未来社会ショーケース事業 (実証PJ) に関する項目 *右記()内は 実証PJの分野想定	①会場整備 (会場設計・環境・エネルギー関連等)	会場内基盤・インフラ整備 基本設計策定			会場内基盤・インフラ整備 詳細設計策定					会場内基盤・インフラ整備 工事											
	②運営 (会場内エンタメ、来場者サービス関連等)	来場者サービス基本計画(全体/サービス分野別)策定										来場者サービス実施 計画策定									
	③情報通信 (情報通信・データ関連等)	ICT基本計画策定			情報通信システム整備計画策定					各種システム整備・運用		万博ICT-PF整備		万博ICT-PF運用							
	④来場者輸送 (外周トラム、小型モビリティ、空飛ぶクルマ)	来場者輸送基本計画策定			来場者輸送基本計画策定					来場者輸送詳細計画・運行計画策定					工事						
会場警備・危機管理		リスク・危機管理方針			リスク・危機管理計画					危機管理体制・システムの検討・構築 教育研修・総合演習											
機運盛り上げ		「TEAM EXPO 2025」プログラム、教育プログラム他										入場券前売販売開始		ベストプラクティスの選定							
行催事	協会行催事への協賛	催事基本方針策定					催事編成 管理計画		制作												
	自主催事参加	大型催事協賛勧奨										公募									
営業参加												公募									

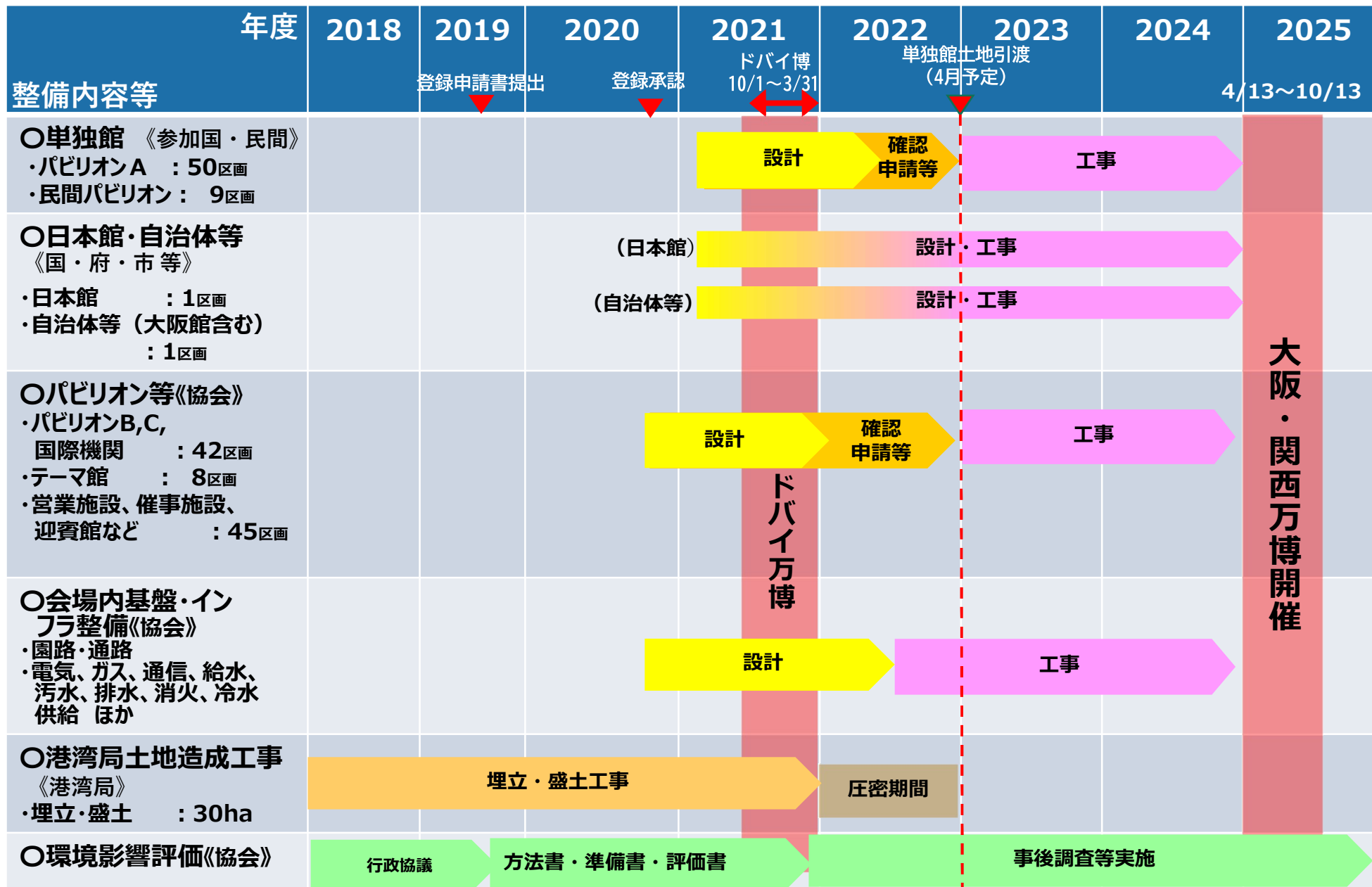
企業向け基本計画説明会

企業参加説明会

2025年日本国際博覧会

※上記は想定スケジュールです。

万博の進捗とスケジュール ～会場整備スケジュール～



※上記は想定スケジュールです。

国家事業である万博は、東京オリパラの実証・実装実験、愛知万博「自然の叡智」を引き継ぐもの

各国VIP等が訪れ、各国・企業とのつながりを強化する場
日本ブランドを売り込む大いなる機会

万博は、未来社会の実験場。
万博でなければできない実験への参加と、
世界中に示すショーケースの活用を。

2025年大阪・関西万博

ワールドマスターズゲームズ関西（2022年）

東京オリンピック・パラリンピック（2021年）

ラグビーワールド杯（2019年）

2005年愛・地球博
テーマ「自然の叡智」

1970年大阪万博

1964年東京オリンピック・パラリンピック

万博を
世界・日本・地域・企業の
次の時代を
つくるきっかけに

- **内閣官房国際博覧会推進本部ホームページ**

2025年に開催される国際博覧会（大阪・関西万博）の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（令和2年12月21日閣議決定）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/expo_suisin_honbu/index.html

- **2025年日本国際博覧会協会ホームページ**

基本計画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/masterplan/>

PR動画 <https://www.expo2025.or.jp/overview/movie/>

未来社会ショーケース事業（People's Living Lab）アイデア応募

<https://www.expo2025.or.jp/pll/proposal/>

「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集

<https://team.expo2025.or.jp/ja/apply>

2025年大阪・関西万博の成功を！

